広報
SHOBARA the public information magazine
しょうばら 12
2018/December
No.165
美しく輝く　里山共生都市

地域の宝

庄原っ子が誕生しています!!

本年４月、庄原赤十字病院で産科が再開となりました。また、７月には庄原市こども未来広場に「小児科診療所」と「病児病後児保育施設」を整備しました。
庄原市では、官・民が一緒になり、地域の宝である子どもたち、またこれから生まれてくる子どもたちに安心な環境を提供し、子どもたちを育む保護者の皆さんを支援します。
これからもたくさんの庄原っ子が誕生し、元気に育っていくことを願っています。
（撮影日 11 月 26 日・４カ月児 育児相談）

がんばれ！スポーツ少年団

●東城ソフトテニススポーツ少年団

東城ソフトテニススポーツ少年団は、現在選手41人、指導者10人で活動しています。練習は、毎週火・木曜日の17時～19時、土曜日の13時30分～17時30分まで東城中央運動公園テニスコートで行っています。（12月から3月までは、テニスコートが使用できないため、毎月2回東城中央運動公園体育館で夜間練習を行っています。）

少年団では、テニス技術の向上はもちろんですが、「あいさつ」のできる子どもの育成も目指しており、まず保護者や指導者に対しての感謝の気持ちを伝えることから始めています。

土曜日の練習では、小学生の参加者も多く、その保護者も一緒に練習を行っています。ソフトテニスをしたことのない人でも、楽しめるよう練習を工夫しています。興味のある方は見学もできますのでご連絡ください。

代　表　赤木 克好　☎090-8713-1866
事務局　山本 裕之　☎090-4695-3331

まちづくりを進める市民活動登録団体をご紹介します！

市は市内で活動している市民活動団体の登録制度をつくり広く公開しています。

市民活動の充実、まちづくりの連携や協働を進めるため情報をお届けします。

はっぴぃメイト

活動内容　地域福祉と女性の健康づくりを推進

私たちは、西城地域を中心に地域福祉と女性の健康づくりを推進するために活動しています。

保健福祉に関する研修活動や高齢者への配食サービスの配達支援、地域のまつり・行事などでの介助や案内役を務めるほか、福祉施設の清掃活動などを行っています。また、しあわせ館で開催している保健事業にボランティアスタッフとして参画しています。

地域のイベントでの健康体操の披露、「ピンクリボン実行委員会」などにも積極的に取り組み、11月にはアロマセラピストの瀬戸照美さんを招いてハンドクリームづくりの実習を行いました。

12月は毎年恒例の市議会傍聴を予定しています。市政の動きを学んで、今後の活動に生かしたいと思います。

問い合わせ
西城保健福祉センターしあわせ館内
☎0824-82-2202

市民活動団体登録をしませんか？

市は随時、登録を希望する市民活動団体を募集しています。

詳しくは、自治定住課自治振興係（☎0824-73-1209）まで。

もくじ

2　市民のページ
3　こうすりゃ～ええ農
4　個別の相手紹介に力を入れています！～しょうばら縁結び事業～
6　芸備線は今…
7　市職員追加募集
8　除雪作業にご理解とご協力を
9　75歳以上の方のみの世帯雪下ろし／消費生活Q＆A
10　物販拠点施設等リレーコラム／安心・安全な毎日のために
11　母子保健だより／子育て通信あそびっ子
12　市政トピックス
16　カメラレポート
20　健康広場
21　お知らせ

なごみま☆ショット

曽田 泰生（たいせい）くん（板橋町）
H29年12月20日生まれ
父母より：動き回るのが大好きで元気いっぱいの泰ちゃん！これからの成長を楽しみにしているよ！

加藤（かとう） 優那（ゆうな）ちゃん（板橋町）
H30年3月22日生まれ
父母より：お姉ちゃん、お兄ちゃんが大好き！好奇心旺盛な女の子です。

3歳までのお子さんの写真を募集しています。詳しくは行政管理課（☎0824-73-1159）まで！

こうすりゃ～ええ農（のう）

Agricultural news　vol.21

このコーナーでは、農業のちょっとしたコツを、市の営農指導員と地域おこし協力隊員からお知らせします。

営農指導員のワンポイントアドバイス

営農指導員　若山（わかやま） 譲（ゆずる）

最低限知っておきたいおいしく新鮮な野菜の選び方

野菜を買うとき、どのような基準で選んでいますか。毎日の食生活に欠かせない野菜。今回は、そんな野菜の選び方を紹介します。

葉で確認…ホウレンソウ、ネギ、コマツナ、シュンギクなど

緑（ネギは緑と白）が濃く、葉先がぴんと伸びているほど新鮮です。黄色っぽく変色しているものは鮮度が落ちているといえます。

重さで確認…キャベツ、ハクサイなど

丸い形をした葉を食べる野菜は、重いものほど葉がたくさん詰まっています。見た目も色濃く鮮やかでみずみずしいものを選びましょう。水分が蒸発していると、鮮やかさや光沢がなくなります。

いぼいぼで確認…キュウリ、ナスなど

とげやいぼいぼがあるのは新鮮な証拠です。古くなるほどつるつるになってしまいます。キュウリは、へたにあるとげが鋭く、切り口がみずみずしいものが、ナスは、へたが黒く色づいてトゲが痛いぐらいのものが新鮮です。

切り口で確認…ダイコン、ニンジンなど

ダイコンやニンジンは時間が経過したら、葉や茎の切り口が変色し、皮の張りがなくなります。ニンジンは、茎の部分を確認し、黒ずんでいないものが新鮮です。そして、その切り口の直径が小さいものの方が根の部分の芯が細く、肉質も柔らかくおいしく感じます。

しなやかさで確認…根菜類全般

根菜類は、しなやかで弾力性があり、表面に張りがあるものが、水分が蒸発しておらず新鮮です。大きく育ち過ぎると中がかすかすになり味が落ちるので、適度な大きさで形の良いものを選びましょう。根菜類は、土の養分を吸い、真っすぐ伸びます。ひげ根の跡も真っすぐのものを選ぶと良いです。

最後に

鮮度は〝栄養価〟とイコールです。野菜ごとにもっと細やかな選び方がありますが、分かりやすさの点から大まかなカテゴリーで紹介しました。おいしく新鮮な野菜を選ぶメリットは栄養価です。確かな目でいい野菜を選びたいものです。

問い合わせ
農業振興課農業振興係
☎0824-73-1132

地域で「生き生き」獣害対策その一歩先へ！

地域おこし協力隊　草谷（くさたに） 夏枝（なつえ）

冬野菜はテグスやネットで対策

ぐっと寒くなりましたね。冬場の鳥獣対策はしていますか？

イノシシは食べないだろうと安心して野菜くずを「ポイ捨て」しないこと。冬は鳥類やヌートリアが葉物を狙ってきます。捨てた野菜くずは彼らの餌になります。

例えば、ヒヨドリは野菜も果実も大好きですが、夏場は畑の野菜ではなく、山で木の実や虫などの餌を探します。身の安全を確保するためにできるだけ地面の方に行きたがらないためです。冬場に一気に畑にやってくるのは、他に主だった餌がないからです。

鳥の場合、若鳥が冬場に死ぬことで淘汰されていますが、死なないと、カラスはおよそ2倍、スズメなどは最大5倍も個体数が増えるだけの潜在出生数があるそうです。里の食べ物で越冬が楽になり個体数が増えるのは、どの動物にでも共通のことのようです。

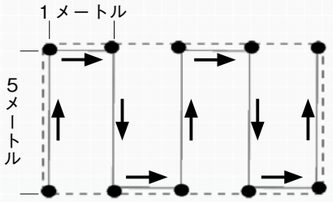
獣種に合わせた新しい柵

今回は「簡単カラスのテグス柵」をご紹介します。

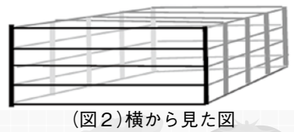
図1は上から見た図です。黒丸の場所にイボ竹などの支柱を片側に5メートル間隔で、もう片側は1メートル間隔で打ち込みます。まず支柱の一番上だけに矢印のようにテグスを張っていきます。

次に図2のように、周囲側面に25センチ間隔でテグスを張れば完成です。

冬野菜はもちろん、野菜くずなどのごみ捨て場やスイカの路地栽培、支柱を高くすれば夏場のトウモロコシやトマトの対策にも使えそうですね。



（図1）上から見た図


（図2）横から見た図

獣種に合わせた柵の設置があります。ご相談ください。

問い合わせ
商工林業課林業振興係
☎0824-73-1124

個別の相手紹介に力を入れています！
～しょうばら縁結び事業～

自治定住課定住推進係　☎0824-73-1257

結婚は個人的な問題ですが、若者の流出が進む本市にとっては大切な問題です。結婚をするかしないかは個人の考えが尊重されるべきですが、結婚を希望しながらも「出会いがない」「自信がない」といった理由でかなわないこともあります。こうした状況を踏まえて、市は平成28年度にしょうばら縁結び事業を始動（庄原市総合サービス株式会社に委託）。会員制で、結婚を望んでいる方にさまざまな支援を行い、結婚を後押ししています。

結婚を支援する「しょうばら縁結び事業」。会員数は450人を超え、これまで15人の方から成婚報告を受けています。今回は、中でも特に力を入れている「小結び」について紹介します。

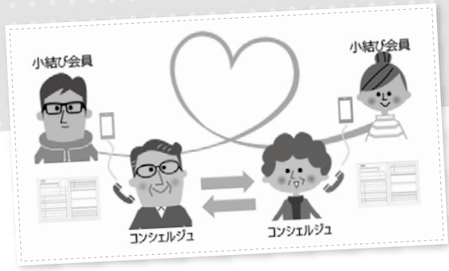
縁結びコーディネーター
枯木（かれき） 悦子（えつこ） さん

小結びって？

しょうばら縁結びでは、大・中規模の縁結びイベントを「大結び」「中結び」と呼ぶのに対して、1対1で行う個別の相手紹介を「小結び」と呼んでいます。

小結びの利用登録をすると、担当の縁結びコンシェルジュ（※1）とともに、希望に沿った相手を探します。縁結びコンシェルジュは、月に一度、それぞれが担当する会員のプロフィールを持ち寄り、会員同士のマッチングを検討します。希望に沿う相手が見つかったら、一度会ってみたいかどうか、会員の意思を確認します。双方ともに会うことを希望すれば、担当の縁結びコンシェルジュ立ち会いのもとで、相手の方と直接話をすることができます。

※1　小結びの調整・開催や会員へのきめ細やかなサポートをします。市内各地域で10人が熱心に活動しています。



小結びの利用方法

ステップ1　会員登録

①まずはしょうばら縁結びの会員登録が必要です。登録後、小結びを希望する旨をメールや電話で連絡します。

②担当の縁結びコンシェルジュが決まったら、面談の日程調整を行います。面談の際に、自身の事や相手の希望などを聞き取ります。

会員登録はしょうばら縁結びホームページから

ステップ2　お引き合わせ

①双方が直接会うことを希望すれば、担当の縁結びコンシェルジュがお引き合わせの日程調整や会場の設定を行います。

②双方ともに「もう一度会いたい」と希望すれば、双方の縁結びコンシェルジュを通じて連絡先を交換します。

ステップ3　カップル成立後

縁結びコンシェルジュは二人のお付き合いや結婚に向けての悩み事などを継続してサポートします。

祝 成婚報告！　小結びを通じて成婚したお二人にお話を伺いました。

本年3月、二人は小結びを通じて出会いました。「担当の縁結びコンシェルジュから誘いを受けて、行ってみることにしたんです」と話すのは夫の優也さん（36）。これまでも大人数のパーティーに参加するなどして婚活に取り組んでいましたが、1対1で話す方が向いていると思ったそうです。妻の梨恵さん（36）も、小結びの提案を受け、「会うだけ会ってみないと分からない」と、思い切って行動に移しました。

縁結びコンシェルジュ立ち会いのもと、レストランで初めて顔を合わせました。事前情報だけでは分からない相手の雰囲気や性格に、好印象を持った二人。梨恵さんは「優しくて、真面目そうな方でいいなと思った」と当時を振り返ります。

和やかな雰囲気で会食を終え、小結びを終了。解散後まもなく、優也さんは縁結びコンシェルジュに「もう一度会いたい」と伝えました。そのことを知った梨恵さんも、気持ちは同じでした。二人は縁結びコンシェルジュとの連絡を通じてその日のうちに再会することができ、ドライブデートを楽しんだそうです。一週間後、優也さんから「この縁を大切にしたい」と申し出て、交際が本格的にスタートしました。

順調に愛を育んだ二人はある日、共通の趣味であるコンサート鑑賞にお出かけ。梨恵さんがいつものように助手席に乗ろうとした際、そこには12本のバラと指輪が置かれていました。ダーズンローズ（※2）と呼ばれる12本のバラの意味が分かったとき、梨恵さんは喜びにあふれました。

二人は本年9月に入籍し、現在は市内の新居で新婚生活を送りながら、12月の挙式に向けて準備を進めています。

「一緒にいて落ち着くし、安心する。大切な存在」と優也さん。梨恵さんも「嫌なところも言ってくれるし、言ってくれるから直すことができる。何より二人の居心地がいいんです」と幸せと信頼感で包まれていました。

最後に二人は「縁結びコンシェルジュが背中を押してくれたのが大きかった。身を固めたい方は小結びがおすすめです。きっといい出会いが待っていますよ」とエールを送ってくれました。

（名前は仮名です。）

田中（たなか） 光枝（みつえ）さん　藤﨑（ふじさき） 幸恵（さちえ）さん

ご縁をつないだ縁結びコンシェルジュ

小結び当日まで不安もありましたが、お二人は会ったときからとても雰囲気が良かったです。小結び後もその都度報告してくれ、うれしい事ばかりでした。心の底からありがとうを言いたいです。結婚したい方は小結びが近道だと思うので、私達と一緒に頑張りましょう！

※2　プロポーズの演出に使われる。①感謝②誠実③幸福④信頼⑤希望⑥愛情⑦情熱⑧真実⑨尊敬⑩栄光⑪努力⑫永遠―というメッセージが込められている。

2018年度後半もやります！　中結びのお知らせ

「大人数は苦手だけど、少人数なら参加しやすい」「1対1は緊張する」という方におすすめ！
今回はテーマ別に開催します。共通の話題で楽しく過ごしませんか？

- ●と　き：1月・2月・3月の第3日曜日
- ●ところ：当選者へお知らせします。
- ●人　数：男女各5人程度
- ●参加費：男性：1,500円　女性：1,000円
- ●申し込み：しょうばら縁結びホームページから

▶1月20日（日）14時～16時	テーマ	「ラーメン」※1月8日（火）締め切り
▶2月17日（日）14時～16時	テーマ	「アニメ・漫画」※2月5日（火）締め切り
▶3月17日（日）14時～16時	テーマ	「読書」※3月5日（火）締め切り

●イベントなどの申し込み・問い合わせ
庄原市総合サービス株式会社 しょうばら縁結び事業係　☎0824-75-0600　ホームページ http://shobara-enmusubi.jp/

シリーズ

芸備線は今…

Vol.4

市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154

7月の豪雨災害の影響で、多くの鉄道路線が不通となっていましたが、復旧作業が進み、芸備線の新見～東城間が8月27日、東城～備後落合間が8月31日、備後庄原～三次間が10月4日に運行を再開しました。そして、備後落合～備後庄原間は12月20日に運行再開の見込みであると発表されています。(三次～狩留家間の運行再開は来年の秋と発表されています。)

不通となった芸備線の早期復旧に向けては、10月に、芸備線沿線4市(庄原市のほか、広島市、安芸高田市、三次市)の市長がJR西日本広島支社へ要望書を提出し、支社長と意見交換を行うなどしてきました。

7月の豪雨災害から5カ月。この間、市民の移動手段として、鉄道の重要な役割を改めて認識し、芸備線について思いをはせた人もいます。その中の1人、庄原市芸備線の存続に関する協議会委員で、西城紫水高校PTA副会長の中村尚朋さんに話を聞きました。

中村(なかむら) 尚朋(よしとも)さん(実留町)

「不通となった後、代行バスが運行されるまでの2週間余り、高校生は保護者の送迎や路線バスで通学していました。その間、時間どおりに運行されるという面で、鉄道の重要性を改めて感じました。また、路線バス運賃の保護者負担も大きく、高等学校の存続のためにも通学手段として鉄道が必要であると感じました。不通期間が長くなるにつれ、草だらけの線路を見ると、本当に復旧できるのかと心配にもなりました。しかし、12月20日に運転が再開されるとの報道を受け、大変うれしく、感謝しています。加えて、早期の復旧、代行バスの運行についてもJRに対して改めて感謝するとともに、雪が降る時期の前に時間どおりに運行される鉄道の再開は大変うれしく思っています。芸備線は、特に高校生にとっては、なくてはならない通学手段です。」

このとおり、芸備線は、通学をはじめとした市民の移動手段として重要な役割を担っています。市は、芸備線への思いを利用者と共有し、引き続き、芸備線の利活用促進の取り組みを行っていきます。

庄原市職員募集《追加募集》

総務課人事秘書係 ☎0824-73-1125

●市は次のような職員を求めています。

市民起点	自治振興区などを通じた地域活動に積極的に参画し、市民との協働に努める職員	経営感覚	組織のミッションを理解し、それを実現するための最善の方法を導き出せる職員	自律と創造	失敗を恐れずに新たな課題に果敢に挑戦していく職員

●採用職種、採用予定人員および応募資格

職種	採用予定人員	応募資格(※)
技術職(土木)	若干名	・昭和63年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた人
障害のある人を対象とした一般事務職	若干名	・昭和58年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた人 ・受付期限までに身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人

※いずれの職種も、平成31年4月1日から勤務が可能な人。
※1受験者につき1職種しか受験できません。

●申込手続

(1)試験案内・申込書の入手方法

①配布場所
総務課人事秘書係、各支所総務室

②インターネットの利用
市ホームページ(http://www.city.shobara.hiroshima.jp)に掲載中の試験案内から印刷してください。

③郵送による請求
庄原市総務課人事秘書係(〒727-8501 庄原市中本町一丁目10番1号)宛てに返信用封筒を同封してご請求ください。
・総務課人事秘書係宛ての封筒の表には「試験資料請求」と朱書きしてください。
・返信用封筒(角形2号:縦33・2㎝×横24㎝)に宛先を明記し、120円切手を貼ってください。

(2)提出書類

申込書に必要事項を記入し、添付書類と併せて総務課人事秘書係へ提出してください。

(3)申込受付期間

平成31年1月9日(水) 17時15分まで
郵送の場合は1月9日(水)消印有効

●試験の方法

試験は第1次試験および第2次試験とし、第2次試験は第1次試験の合格者で行います。

【第1次試験】
試験日 平成31年1月27日(日) 8時受付開始
試験会場 庄原市役所本庁舎(庄原市中本町一丁目10番1号)
試験科目 教養試験、作文試験、一般性格診断検査、専門試験(技術職(土木)のみ)
※それぞれの試験は、活字印刷文による出題により実施します。

【第2次試験】
試験日 平成31年2月中旬
※第2次試験の試験日、会場、試験内容などの詳細は、第1次試験合格通知などでお知らせします。

●採用予定年月日

平成31年4月1日採用予定

問い合わせ
総務課人事秘書係
☎0824-73-1125
※詳しくは、「平成30年度庄原市職員採用試験《追加募集》案内」をご覧ください。

除雪作業にご理解とご協力を

建設課管理係　☎0824-73-1150

12月に入り、市内各地域で積雪が予想されます。県と市は、積雪時に道路交通を早期に確保するため除雪に努めています。除雪作業は日常生活に欠かすことのできない道路交通を確保するための重要な作業であり、迅速かつ効率的に行う必要がありますが、積雪量や障害物などで時間がかかる場合もあり、道路の幅や構造によっては、除雪できない道もあります。

皆さんのご理解とご協力をお願いします。

市道除雪について

- 市は道路上に、20センチメートル以上の積雪が確認され、通行に支障がある場合に除雪作業を行います。(国・県道は積雪15センチメートル以上)
- 夜間の除雪作業は大変危険なので、原則として5時から17時までの間で行います。
- 道路の幅員や障害物などの状況によっては交通規制などを行う場合があります。

除雪作業を行う上でのお願い

- 車道・歩道上の除雪作業の障害となるものは事前に撤去するなどの対応をお願いします。また、道路脇に設置してある電気柵などは除雪作業により破損する恐れがありますので、あらかじめ撤去しておいてください。
- 路上駐車がある場合、除雪作業に支障が生じますのでご注意ください。
- 家や駐車場の出入口は特に注意して除雪していますが、除雪機械の構造上、全ての雪を取り除くことはできません。限られた時間と人員で市内の道路交通を確保しなければならないため、寄せ雪の除去は大変困難であり、各家庭で取り除いていただきますようご協力をお願いします。
- 道路脇の樹木の枝が積雪でたわみ、通行の障害になる場合は、樹木の所有者の責任で撤去するなどの対応をお願いします。特に危険な場合には、作業者にて伐採することがあります。
- 屋根の雪やつららが道路へ落ちる恐れがある場合は、屋根に雪止めなどを設置し事故防止の対策をしてください。また、屋根などの敷地内の雪を道路に出す行為は道路法および道路交通法などで禁止されています。

除雪についての問い合わせ

●国・県道の場合
広島県北部建設事務所　庄原支所土木課　☎0824-72-2015

●市道の場合

建設課管理係	☎0824-73-1150		
西城支所地域振興室	☎0824-82-2181	高野支所地域振興室	☎0824-86-2113
東城支所産業建設室	☎08477-2-5141	比和支所地域振興室	☎0824-85-3003
口和支所地域振興室	☎0824-87-2113	総領支所地域振興室	☎0824-88-3065

75歳以上の方のみの世帯の「雪下ろし」を支援します

～庄原市高齢者世帯雪下ろし支援制度～

市は、高齢者が降雪期に安心して生活できるよう、市内の高齢者世帯を対象とした雪下ろし支援制度を設けています。

対象者は？

市内に住民票があり、現に居住している75歳以上の方のみで構成する市民税非課税の世帯。

また、75歳以上の方以外に、次のいずれかに該当する方のみが同居している世帯も対象となります。

❶1級～4級の身体障害者手帳所持者
❷Ⓐから Ⓑまでの療育手帳所持者
❸1級または2級の精神障害者保健福祉手帳所持者
❹15歳未満の方

対象となる作業は？

①屋根からの雪下ろし
②屋根から下ろした雪の除去
③屋根から落ちた軒下の雪の除去
※ただし、現在住んでいる住宅に限ります。

支援内容は？

●経費の助成　対象作業に要した経費の3分の1以内の額（千円未満は切り捨て）を助成します。同一年度内に受け取れる助成金の上限は3万7千円です。

●業者の紹介　対応が可能な業者を紹介しますので、お問い合わせください。

申請方法は？

業者などに依頼した雪下ろし作業が完了した後、交付申請書に実施状況報告書と領収書の写しを添えて申請してください。

申請窓口・問い合わせ
高齢者福祉課高齢者福祉係
☎0824-73-1165
または各支所地域振興室・市民生活室（西城支所は、しあわせ館内）

消費生活Q&A

こんな消費者トラブルありました！

市民生活課市民生活係
☎0824-73-1154

電力の販売業者や契約プランの変更は慎重に！

平成28年4月に電力小売り事業が全面的に自由化され、さまざまな事業者が一般家庭向けに電力を販売できるようになりました。その頃から、「知らない事業者から電話があり、『電気の契約を当社に切り替えると、料金が安くなる』と説明され、『安くなるのなら』と思い電話で契約を申し込んだが、契約時に内容をよく理解していなかったためキャンセルしたい」という、電気契約の変更に関する相談が多く寄せられています。

このように、「今よりも安くなる」という説明をうのみにせず、明細書やインターネットなどで現在の契約内容や料金を確認し、本当に変更が必要かどうか考えましょう。

また、検針票などに記載されている「お客様番号」などの情報をよく考えずに事業者に伝えてしまうと、消費者の意に反して契約手続きを進められることもあります。情報の提供は慎重に行いましょう。

訪問販売や電話勧誘販売で契約した場合、契約書面などを受け取ってから8日以内であればクーリング・オフをすることができます。

買い物や契約、クーリング・オフに関する相談は庄原市消費生活センターへ！
☎0824-73-1228
平日9時～16時（12時～13時は除く）受付

物販拠点施設等
リレーコラム
Relay column

vol.05

「里山を楽しむ町総領」 道の駅リストア・ステーション

道の駅リストア・ステーションの歴史は、平成3年に建築家・小川晋一氏の設計により、近未来的なデザインの建造物が造られ、過疎化が進む町の再生への思いを込め、「リストア（再生、よみがえる）・ステーション」と名付けられたところから始まります。平成5年には、広島県第一号の道の駅として認可を受け、その後特産品販売施設、トイレ棟などが整備されました。

特産品売場には、地元の野菜や米、加工品の他、総領町の銘菓のようかんや、こんにゃく、そして地元産のお酒が並び、お酒はまとめ買いする方もいるほど人気のものもあります。一面ガラス張りのレストランからは、川向こうにある公園や山を眺めながらゆったりと食事を楽しむことができます。またこの時期は、町内の特産品でそろえた「ふるさと特産品」の小包や、総領産ヒメノモチを使った正月用きねつき餅の注文を受け付けており、好評をいただいています。

毎年2月中旬からの「節分草」自生地公開時には、公開地を巡る観光客の拠点となり、土・日曜日には地域を挙げてのバザーなどでにぎわいます。

総領町の生活拠点、観光拠点としての役割を担い、庄原市の活性化につなげられるよう頑張っていきます。皆さんのお越しを心よりお待ちしています。

（道の駅リストア・ステーション　駅長　池田（いけだ）好幸（よしゆき））

このコーナーでは、食材をはじめとする地域資源を活用した産業振興や、市内外からの来訪者による交流促進などにより、市全体が活性化していくための拠点となる施設の魅力について、施設長自らのリレーコラム形式で紹介していきます。

観光振興課観光振興係　☎0824-73-1179

安心・安全な毎日のために

庄原消防署　☎0824-72-9911
東城消防署　☎08477-2-4005

火災の無い明るい新年を迎えよう！

これからの時季は、寒さが一段と増し、暖房器具を使用する機会が多くなります。また、空気が乾燥するため、火災が発生しやすくなります。

一人一人が、よりいっそう火の用心を心掛けましょう。

暖房器具による火災を防ぐために

▼ストーブをつけたまま寝ない。
▼洗濯物をストーブの上に干したり、近くで乾かしたりしない。
▼カーテンや布団などの燃えやすい物の近くでは、ストーブを使用しない。
▼火をつけたままストーブに給油をしない。
▼給油前に油種の確認をする。
▼外出するときは必ず暖房器具の電源を切る。
▼電源プラグやコードが傷んでいたら使用しない。

お餅による窒息にご注意を！

年末年始には、毎年お餅を喉に詰まらせて窒息状態に陥る事故が多く発生しています。特に飲み込む力が弱くなった高齢者は注意が必要です。もし、窒息を起こした場合は、すぐに119番通報をしてください。

窒息事故を防ぐために

▼食品を小さく切るなど、食べやすい大きさにする。
▼急いで飲み込まず、ゆっくりとよくかみ砕き、だ液と混ぜてから飲み込む。
▼食事の際は、お茶や水などを飲んで喉を湿らせる。
▼いざというときに備え、応急手当の方法を習得しておく。

窒息に対する応急手当

▼咳をするように促す。異物の除去に一番有効です。
▼手の付け根で、左右の肩甲骨の間を強く繰り返したたく。（背部叩打法（はいぶこうだほう））
▼患者の背後から手を回し、握りこぶしを作って、へそとみぞおちの間を手前上方に向けて突き上げる。（腹部突き上げ法）
※反応がない場合は心肺蘇生法を行ってください。

腹部突き上げ法

母子保健だより

市内の子育てサークルなどご紹介⑧

総領子育て支援センター

保健医療課健康推進係
☎0824-73-1255

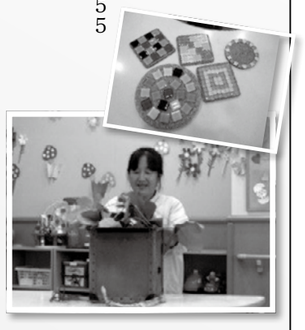
皆さん、庄原市内の子育てサークルをご存知ですか。仲間づくりをし、悩みを相談し合うことで、不安になりがちな育児が少しでも楽しくなるかもしれません。本年度の母子保健だよりは、そのような仲間づくりの場である各地域の子育てサークルや育児広場をご紹介しています！

今回は総領地域の「総領子育て支援センター」にインタビューを行いました。

総領

総領子育て支援センター

総領子育て支援センターは、総領保育所内にあり、毎週火曜日と木曜日に開設しています。おしゃべりや子育て相談、クッキングやカイロプラクティックなどを定例で行うほか、本年度は、子育て推進委員から小物づくりを教えてもらっています。コースターや写真立てなど、世界に一つだけの手づくり小物は、参加者の楽しみになっています。



創造力を育てる自然遊びについて学びました

毎月第2火曜日の子育て相談の日に合わせて、年に1回「母子保健学習会」を実施しています。本年度は、絵本牧場ごんぼの寺西玉実（てらにしたまみ）さんにお話をしてもらいました。「自然遊びや絵本から、子どもは五感を使ってたくさんのことを感じ、経験し、創造し、言葉を組み立てる力が付いてきます。ぜひ、外を歩いてみてください。いくつになっても絵本を読んであげてください」という内容でした。

参加者は、「日々の散歩で五感を育てていけるように、キョロキョロと周りを見ながら歩きたいと思います」など、自然遊びの大切さを感じたようでした。

子育て通信

あそびっ子

児童福祉課あんしん支援係
☎0824-73-0051

仕事をしながら子育てをしていると、「子どもが急に熱を出したけど、どうしても仕事を休むことができない」といったことがありませんか？

このようなときに、一時的に子どもを預かる施設が、庄原市にもあります。

仕事と子育ての両立を支援します！

「病児病後児保育施設 わらべ保育室」

西本町二丁目12-9
☎0824-74-6770
開所日、時間　月～金曜日（祝日・年末年始を除く）8時30分～18時

利用の手順

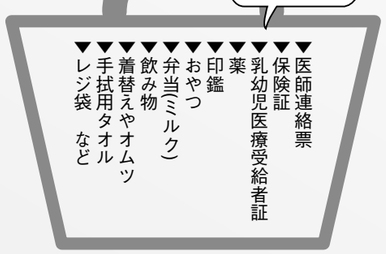
①事前登録：あらかじめ登録用紙を児童福祉課またはわらべ保育室に提出してください。

②予約：わらべ保育室（☎0824-74-6770）に電話で予約してください。

※受け付けは利用前日の8時30分～18時または当日の9時までです。

③受診：隣接する庄原こどもクリニックで受診し、「医師連絡票」を受け取ってください。

④利用申請・入室：持参物を用意し、わらべ保育室で利用申請書を記入してから利用してください。



⑤利用料金の支払い：後日、児童福祉課から送付する納入通知書（納付書）により、お近くの金融機関などでお支払いください。

わらべ保育室の一日

わらべ保育室では、保育士が定時に体温測定をし、状態を見ながら一緒に過ごします。また、庄原こどもクリニックの医師や看護師が体調を診に来ます。子どもは、好きな音楽を聴いたり、絵本を読んだり、遊んだり、昼寝をしたりしながら保育室で過ごします。

危機管理課

災害対応に貢献

平成30年７月豪雨における感謝状を贈呈

木山市長から感謝状が手渡された

11月18日、口和総合運動公園で、平成30年7月豪雨災害の発生に際し、住民避難や応急対応、市民生活への支援および再建などに貢献をした団体、事業者などに対して、木山耕三市長は、感謝状を贈呈しました。

▼避難の呼びかけ協力
・庄原市消防団
・庄原市民生委員児童委員協議会

▼避難所の開設・運営への協力、避難者の受け入れ
・庄原市自治振興区連合会

▼早期復旧に向けた対応協力
・甲奴郡森林組合

▼早期生活再建への協力
・㈲大谷衛生社
・㈲西城清掃社
・㈲ステップ
・㈲東環
・㈲比婆西清掃社

危機管理課

地域防災力向上を目指す

平成30年度庄原市総合防災訓練

空中用消火バケツを装備したヘリコプター

11月18日、口和総合運動公園周辺一帯で、市と市消防団および備北地区消防組合が主催の、平成30年度庄原市総合防災訓練を実施し、庄原警察署、口和自治振興区、広島県防災航空隊を加えた6団体、約150人が参加しました。

訓練は、大規模な林野火災により、口和地域で多数被害が発生しているという想定で行われ、初期消火訓練をはじめ、林野火災防ぎょ訓練、ドローンを使った情報収集伝達訓練、防火帯設置訓練のほか、ヘリコプターによる空中散水訓練、吊り上げ救助訓練など全13種目の訓練を実施しました。

訓練終了後の講評で、備北地区消防組合庄原消防署の山添徳宏（やまぞえのりひろ）署長は「林野火災発生時における関係機関との連携の取り方が再確認でき、有意義な訓練となった」と話しました。

教育指導課

庄原の未来を学校・家庭・地域が一緒になって考える

庄原市教育フォーラム

中学生による提案発表（上2）と東城小児童による発表（下）

10月28日、「庄原の未来、10年後のふるさと庄原」をテーマに、庄原市民会館で教育フォーラムを開催し、約650人が参加しました。

まず、東城小5年生が、東城の四季やふるさとを愛する心を、美しい音楽にのせて群読や歌で発表しました。

続いて、市内7中学校の生徒の代表が、「私たちが創る、10年後のふるさと庄原～『庄原の魅力』発信プラン～」というテーマで提案発表をしました。庄原の観光大使の提案をはじめ、空き家の活用や庄原の魅力発信プロジェクトの立ち上げ、ITの活用やPR動画の作成など、さまざまな具体策を発表しました。小中学生が堂々と自分の思いを表現する姿に、会場からは大きな拍手が送られました。

最後に、これまで民間出身の校長として活躍し、現在も教育活動に力を入れている藤原和博（ふじわらかずひろ）さんが、「10年後、君に仕事はあるのか？」と題して講演をしました。今後、AIに仕事を奪われないためには、正解が無いか、正解が1つではない問題を解決する力である「情報編集力」が特に重要であることなど、参加者同士での協議を交えながらのテンポのよい講演で、会場全体が大変盛り上がりました。

参加者からは、「小中学生の発表は、ふるさとへの思いがあふれる発表ですばらしかった」「藤原さんの講演はとても分かりやすく、子どもたちの未来には必要な内容だと思った」などの声が多く聞かれました。

高齢者福祉課

市長が長寿者を表敬訪問

100歳以上の方に敬老祝金を贈呈

百歳を迎えた小田（こだ）トシコさん（実留町）（中央）

木山耕三市長が10月から12月にかけ、長寿を祝福するため、市内の百歳以上の高齢者を訪問し、敬老祝金を手渡しました。あわせて、本年度中に満百歳を迎える方（基準日／9月15日の「老人の日」）に贈られる内閣総理大臣からのお祝い状と記念品の銀杯を手渡しました。

本年度の敬老祝金贈呈対象者（大正8年3月31日以前に生まれた方）は77人（男性13人・女性64人）、市内最高齢者は女性が満106歳の方、男性が満102歳の方となっています。

観光振興課

庄原のおいしいが広島駅に集結

庄原里山マルシェat広島駅

庄原産新鮮野菜などを販売

市と西日本旅客鉄道株式会社広島支社は10月26日、再開発が進んでいる、注目の広島駅北口で「庄原里山マルシェat広島駅」を開催しました。このマルシェは、庄原市の秋の観光PRとおいしい商品を対面販売することで、誘客や認知度向上、販路拡大につなげることを目的に、庄原市の活性化施策の第2弾として行いました。

当日は、庄原市道の駅等連絡協議会員や、逸品づくり事業者など10店舗が参加しました。新米、大根、キャベツ、白菜、トマト、リンゴなどの新鮮な野菜や果物をはじめ、ジャム、ハチミツ、ケーキ、せんべいなども販売しました。出店者からは「広島駅はとても人通りが多く、継続的に開催できればうれしい」「お客からの、『次の開催はいつ?』との質問が多かった。今後も定期的に開催して庄原をPRできればと思う」などの声が聞かれました。

海外からの観光客も立ち寄った

広島駅は通勤・通学者や近隣住民、県内外の観光客、海外からの観光客など、多種多様な人々が多く行き交う場所です。今後もこうしたイベントを通じて「おいしい庄原」をPRしていきます。

生涯学習課

「親の力」をまなびあう

親プロ講座

10月10日に峰田小学校、25日に西城紫水高校で「親の力」をまなびあう学習プログラム、通称「親プロ」講座を開催しました。親プロは、参加者同士が育児の場面での悩みなどを話し合いながら、子どもや家族への対応の仕方や問題解決方法のヒントが得られるよう開発された学習プログラムです。

峰田小学校では、保護者と教職員が、親離れしていく時期の子どもの心身の変化や、子どもの主体性を伸ばす親の在り方について学び合い、「みんな同じように悩んでいると感じた」「自分の子育てを振り返ることができた」などの感想がありました。

西城紫水高校では、生徒が、子育て準備期に親として命に関わる責任の重さについて学びました。生徒は、「親になるとはどういうことか」「自分と親との関係とは」と真剣に考え、意見発表をしていました。

市教育委員会では、親プロ講座の実施を希望する団体へ、講座の進行を行う親プロファシリテーターを派遣しています。詳細は生涯学習課へお問い合わせください。

問い合わせ
生涯学習課社会教育係
☎0824-73-1188
●親プロについては、市ホームページもご覧ください。

ホームページ
http://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/education/shogaigakushu/post_967.html

西城紫水高校の生徒も真剣に取り組んだ

市民生活課

新しい機能を備え一部使用開始

庄原市斎場「和の丘」落成式

10月30日、庄原市斎場の落成式を行い、同日、見学会も行いました。

老朽化に伴い、平成29年度から整備を行ってきた庄原市斎場は、愛称を「和の丘」とし、火葬を行えるだけではなく食事をしながら休憩できる待合室や、通夜・葬儀を行うことのできる式場を併設した一体的な施設です。近年の地域実情を踏まえ、祭壇を常設した式場のほか、待合室など新たな設備を設け、「心穏やかに過ごせる施設」として整備してきました。

火葬部門と待合部門が11月1日から使用を開始しました。葬祭部門は、駐車場拡張工事に合わせ、来年4月1日から使用できます。

見学会参加者は、「これまでの庄原市斎場と全然違う。新しくなって安心」と話していました。

テープカットの様子

農業振興課

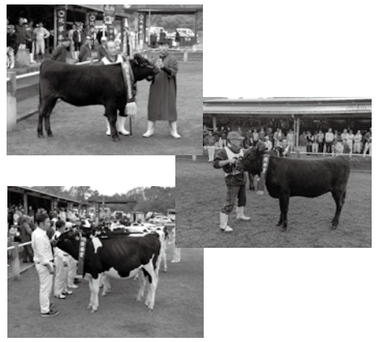
庄原市内農家の和牛・乳牛が大躍進！

第94回広島県畜産共進会

10月23日、三次家畜市場で第94回広島県畜産共進会「種畜の部」が開催され、庄原市内からは27頭（肉用種20頭・乳用種7頭）が出品されました。

肉用種種牛の部（子牛の部）では立川道和さん（東城町）出品の「ふくしげたつ38」が、肉用種種牛の部（成牛の部）では赤木一超さん（東城町）出品の「ほりまさ3の1」が、乳用種種牛の部（第1区）では、才木敏希さん（峰田町）出品の「ビゴラス　メビウス　ノッチ」が、それぞれ首席を獲得しました。また、立川道和さん出品の「ふくしげたつ38」が肉用種種牛の部で総合首席を獲得するなど、庄原の和牛・乳牛が優秀な成績を収めました。

今回の結果で、市内農家の飼養管理技術の高さを改めて示すことができました。今後も中国地方有数の畜産地帯としての地位を確固たるものとするため、関係者が一丸となって家畜の改良を進めていきます。


上から、ふくしげたつ38、ほりまさ3の1、ビゴラス メビウス ノッチ

企画課

友好と交流の絆を深める

中国四川省綿陽市友好訪問団が庄原市を訪問

11月1日・2日の2日間、綿陽市人民政府の顔超常務副市長を団長とする綿陽市友好訪問団6人が、本市を訪れました。

庄原市と綿陽市は、平成2年に「経済技術友好協力協定」を締結し、25年以上、友好交流を継続しています。これまで、公式訪問に加え、両市の小中学生や議会関係者などの相互訪問などによって友好関係を深めてきました。

訪問団は1日に木山耕三市長を表敬訪問し、顔超団長から、「このたび、庄原市を訪れることができうれしく思うと同時に、さらなる提携と協力ができることは大変光栄なことと感じています」と挨拶がありました。今回は、2020年度に協定締結から30周年を迎えることから、記念行事のあり方などを確認しました。また、来年9月開催予定の第7回中国（綿陽）科学技術都市国際科学技術博覧会への招待もあり、和やかな雰囲気の中で懇談が行われました。

訪問団は、国営備北丘陵公園および庄原市有害鳥獣処理施設を視察し、同処理施設では、施設の概要やイノシシの処理数などの説明を受けた後、作業の様子を見学しました。

今回の交流を通して、両市の友好協力関係と相互理解をより一層深めることができました。

写真左から、堀井市議会議長、顔常務副市長、木山市長

いちばんづくり課

比婆いざなみ街道のＰＲと沿線地域の活性化を図る

いざなみック２０１８～第２回比婆いざなみ街道マラニック～

10月28日、比婆いざなみ街道沿線を舞台に、タイムや順位にとらわれないマラニックを通して、庄原市の魅力的な食や伝統文化、景観などを発信するイベント「いざなみック２０１８～第２回比婆いざなみ街道マラニック～」を開催しました。「いざなみック」という愛称は、このマラニック大会により親しんでもらえるよう今回から採用したものです。

本年のコースは、庄原市比和総合運動公園（比和町）をスタートし、熊野神社（西城町）、アップルロード（高野町）を経由し、スタート地点に帰る「66㎞の部」と、同じく比和総合運動公園をスタートし比和町内を巡る「11㎞の部」でした。

大会当日は、朝こそ少し雨が降っていましたが、徐々に天候も回復し、昼には気持ちの良い秋晴れとなりました。ランナーの皆さんは中国山地の山々の絶景を楽しみながら、地元の皆さんが運営したエイドステーションで比婆牛やしし汁、リンゴ、おこわなど街道沿線のおいしい食を堪能している様子でした。

参加した多くのランナーからは「地元食材の食事は最高だった」「紅葉のきれいな庄原の山々を眺めながら走ることができ楽しめました」「地域の皆さんとのエイドステーションでのふれあいや沿道から送ってくれた温かい声援が心に残った」という感想が聞かれました。

いざなみック 2018	参加者
66㎞の部	149 人
11㎞の部	186 人
合計	335 人

11㎞の部　スタート前記念撮影

走行風景

66㎞の部　スタート

スタート　石川実行委員長あいさつ

66㎞の部　湯川コミュニティセンター（エイド）

66㎞の部　イザナミ茶屋（エイド）

11㎞の部　比和自然科学博物館（エイド）

ゴール　参加賞（特産品）を手に記念撮影

ゴール　木山市長と記念撮影

ゴール

大会の様子は「いざなみック」公式ＨＰ上の写真でご覧ください。
公式ＨＰ　http://shobara-maranic.com/

地域力を活用しおもてなし

外国人モニターツアー・10/29-30　No.1

庄原商工会議所は「2018 年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」の一環として、(一社)庄原市観光協会などの協力のもと、10 月下旬から11 月上旬にかけて、３つのモニターツアーを実施しました。

10 月29 日 ·30 日に実施したツアーでは、オランダや韓国から計５人が参加し、川北町の古民家宿「暮らし宿 お古」で収穫した野菜を使った調理体験や五右衛門風呂、薪割りなどを体験しました。

また、上谷町を拠点に演奏活動を行っている「不老仙太鼓」のメンバーによる和太鼓体験も行われました。不老仙太鼓代表の藤原則幸さんは、「参加した方が楽しんでいたので、私たちも楽しかった」と手ごたえを感じていました。その他、ツアーでは、帝釈峡散策や刀匠の久保善博さんによるペーパーナイフづくり体験などが実施されました。オランダからの参加者は「貴重な経験ができた」と喜んでいました。

庄原商工会議所職員は、「今回のモニターツアーで実施したアンケートなどを基に内容を再考し、次の展開に向けて検討していきたい」と話していました。

▲暮らし宿　お古で田舎暮らしを楽しんだ

▲和太鼓体験を楽しむ外国人モニターツアー客

全国で庄原産米が高い評価

受賞を市長に報告・11/6　No.3

「炊飯・米飯商品国際コンテスト」で西城町美味しい米つくり研究会の会長山本広美さん出品の米が、全国から出品された 51 点のうち４点だけが選ばれた「特Ａオーバーランク」に認定され、「千粒重上位賞」を受賞しました。

このコンテストは、米飯商品としての適性や炊飯機器との相性などを評価するコンテストで、米の品質検査などを行うアイホー炊飯総合研究所（愛知県豊川市）が初めて開催したコンテストです。山本さんは「これまでの努力が認められた。今後も高品質なお米を作り続けたい」と喜んでいました。

庄原産米は全国の米コンテストで高い評価を受け続けており、庄原産米のさらなるブランド力強化につながることが期待されています。

▲木山市長に受賞報告した（右から木山市長、山本会長、荒木副会長、大場事務局長）

憩いのスペースから情報発信

宮田武義氏作品展・10/1～　No.2

ウイル西城１階にある「まちの駅『ひばごんの郷』」で、庄原市名誉市民の宮田武義氏の作品展示が行われています。

掛け軸などの作品や略年譜、宮田氏と親交のあった著名人を紹介したパネルなどを見ることができます。その他、イートインやオープンスペースがあり、大型ディスプレイによる情報発信、観光パンフレットの配布、比婆いざなみ街道のPR なども行われています。

西城町産業振興開発株式会社の堀井康夫代表取締役は「寄贈された掛け軸、宮田氏愛用の竹筆、すずりもぜひご覧ください。掛け軸には寺川大雅さんによる説明を添えてあり、定期的に入れ替えを行う予定です」と話していました。

▲会場には宮田武義氏の作品が並ぶ

受け継がれる伝統

東城まちなみぶらり散歩ギャラリー・11/1-5　お通り・11/4　No.4

11 月１日から11 月５日までの５日間、街道東城路（東城町市街地）で「東城町まちなみぶらり散歩ギャラリー」が開催されました。街道沿い約600 メートルに、各家の展示や手作り品などが並び、着物姿の観光客などが東城のまちなみに華を添えてくれました。

また、沿道では東城高校生徒によるボランティアガイド「東城応援隊」が、来訪者へ見どころを案内しました。

11 月４日には、東城小学校をメイン会場に「お通り」が開催されました。「お通り」は江戸時代から続く伝統行事で、東城五品嶽城主の長尾隼人が関ヶ原の戦いの勝利を祝って、神社の祭り行列に武者行列を加えたことが始まりとされています。「お通り」では、サザンカで飾りつけた矢よけの武具「母衣」をはじめ、大名、武者、華童子など総勢約150 人からなる行列が市街地を練り歩き、沿道は市内外から訪れた１万７千人ものカメラ愛好家や見物客でにぎわいました。

また、本年は長尾隼人没後400 年という節目の年であり、10 月29 日に三楽荘で、記念行事として長尾隼人に関する基調講演も開催されました。

▲東城応援隊が見どころをご案内

▲大名、武者、華童子などが市街地を練り歩いた

健康について考える

市民公開講座・10/27　No.5

庄原グランドホテルで、「庄原市の地域医療を考える会」主催の市民公開講座が開催されました。この講座は、私たちが住んでいる地域ではどのような医療が行われ、いざ自分や家族が病気になればどのような治療を受けることができるのかを知り、安心して受診できる身近な医療を守ることを目的に、毎年開催されています。

今回は、庄原赤十字病院腎臓内科副部長の若本晃希医師が、痛みや体の不調などの自覚症状が少なく、病気が発見されるまで放置されがちな「腎臓」について、機能が低下すると人工透析が必要となることなどを分かりやすく説明し、「健康診断を定期的に受診し、予防することが大切」と来場者にアドバイスしていました。

▲ 100 人が来場し熱心に講演に聞き入った

エンジョイ！ニュースポーツ

総領スポーツフェスティバル・10/14　No.6

田総の里スポーツ公園で、総領節分草スポーツクラブ主催の総領スポーツフェスティバルが開催され、園児から大人まで 50 人が参加しました。この催しは、誰でも気軽にすぐに楽しめるニュースポーツを通じて、日頃の運動不足の解消と健康づくりはもとより、地域住民同士の交流を深めることを目的に開催され、本年で３回目となります。

今回は、ペタンク・フライングディスク・グラウンドゴルフの３種目を１チーム５人に分かれて対戦しました。当日は、天候にも恵まれ、熱戦が繰り広げられ、参加者は爽やかな汗を流しながらニュースポーツを楽しみました。参加者は「楽しかった。また参加したい」と話していました。

▲的を目がけてディスクを投げる様子（フライングディスク）

「帝釈峡小唄」を広めたい

No.12

帝釈峡小唄フェスティバル・10/28

神龍湖畔トレイルセンターしんりゅう湖前で、「帝釈峡小唄」フェスティバルが開催されました。この行事は、白鳥省吾作「帝釈峡小唄」の再生装置が、白鳥省吾歌碑の横に新たに設置されたことによる記念行事です。

ステージでは、鬼神太鼓、山の子会による「帝釈峡小唄」の群読、帝釈峡小唄を踊る会の舞踊などが行われました。

主催する帝釈峡ルネサンス会議代表の和田匡弘さんは、昭和13年に発表された「帝釈峡小唄」、昭和33年に発売されたレコード曲「帝釈峡小唄」に魅せられ、これをもとに帝釈峡の魅力を発信しようと精力的に活動しています。

▲音声装置のボタンを押すと島倉千代子さんの歌が流れます

温水プールで秋の水泳イベント

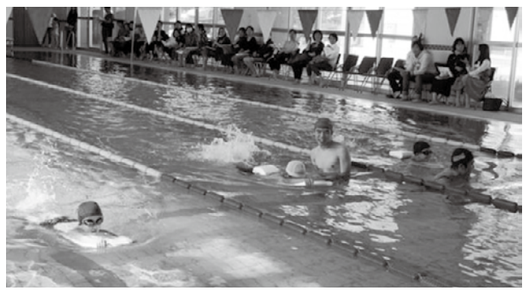
No.11

水夢フェスティバル・10/26

庄原市西城温水プール「水夢」で、水夢フェスティバルが開催されました。第15回目となる今回は、幼児から大人まで総勢116人もの参加がありました。

また、水泳選手の中野由佳選手も出場し、見事な泳ぎを披露しました。中野選手は交通事故に遭い脊髄を損傷し、３年前から車椅子生活を送っています。現在はネイリストとして仕事を行う一方で、パラリンピック出場を目指して、県内外の大会に出場しています。

参加者は平泳ぎやバタフライなどのさまざまな泳法でタイムを競い合ったほか、大会終了後にはお楽しみ抽選会も行われ、イベントを楽しんでいました。



▲幼児もビート版を使って競争

迫力の離着陸

No.8

防災ヘリコプター救急連携訓練・11/12

「防災ヘリコプター救急連携訓練」が高野保健福祉センター南側のヘリポートで実施されました。この訓練は庄原消防署高野出張所の主催で、消防業務に対する市民の正しい理解と認識を深め、防災意識の高揚を図ることを目的としています。

傷病者を救急車、防災ヘリコプターで搬送することを想定した訓練が行われ、間近で訓練を見た市民は緊迫した雰囲気と離着陸の迫力に圧倒されていました。

庄原消防署高野出張所菅原光明所長は「今後も訓練を重ねることにより関係機関の連携強化と市民の防災意識が高まることを期待します」と話していました。

▲傷病者搬送の様子（訓練）

大きな声で、火の用心!!

No.7

幼年消防クラブ　防火パレード・11/6

秋の全国火災予防運動の一環で、みどり園保育所と聖慈保育所の園児が、法被を着て口和町永田地区で防火パレードを行いました。園児は、庄原市消防団口和方面隊の団員や保護者および備北消防マスコット「トンピ君」と一緒に拍子木を打ちながら「戸締り用心、火の用心」と大きな声で訴え行進しました。沿道の地域の方からは、温かい声援が送られていました。

このパレードは、これから暖房器具を使用する機会が増え、火災が発生しやすい時期を迎えることから、園児に火災の恐ろしさを認識してもらうとともに、防火パレードを通じて地域住民の防火意識の高揚を図ることを目的とした行事です。

▲拍子木を打ちながら火の用心を訴えた

地域の新たな特産品づくり

No.14

比和自治振興区　酒米甘酒作り・10/25

比和自治振興区による、酒米甘酒作りが行われました。これは、３月に町内で行われたシンポジウム「未来のタネをみつけよう」での、小・中学生による“町内で育てた酒米やソバを使って新たな地域の特産品をつくるのはどうか”という提案を受けて企画されました。

当日は、地域の子どもたちやその保護者などが参加。炊けた酒米の試食の後、甘酒作りに挑戦しました。温度調節がなかなかうまくいかず四苦八苦していましたが、甘酒作りに成功した参加者は、うれしそうな表情を浮かべていました。

この甘酒は、10月28日に行われた「いざなみック2018～第2回比婆いざなみ街道マラニック～」のエイドステーション（休憩所）で提供されました。

▲酒米を炊くところから甘酒作りを行った

事故防止と公共交通の維持

No.13

安全運転サポート車の体験とバスの乗り方教室・10/19

里山の駅 庄原 ふらり（国営備北丘陵公園北入口エリア）で、中国運輸局や広島県警、備北交通㈱、庄原市などで構成する安全運転サポート車＆公共交通体験会実行委員会主催の「安全運転サポート車体験＆バスの乗り方教室」が開催され、小学生27人を含む72人が参加しました。この教室は、安全運転サポート車の普及促進と公共交通の利用促進による、交通事故の防止や公共交通の維持・活発化のために行われました。

当日は、安全運転サポートカーに乗車し自動ブレーキの実体験や、バスの乗降の際のPASPY（ICカード）の使い方などの体験を行いました。また、「安全運転×公共交通利用＝健康」と題した呉工業高等専門学校神田佑亮教授の講義もありました。

▲PASPY（ICカード）を使った実車体験

健康について考える一日に

No.10

カラダ・ココロ　すこやかフェスタ・11/18

庄原市民会館で、「カラダ・ココロすこやかフェスタ」と世界糖尿病デー「ブルーライトアップイベント2018」が同時開催されました。

当日は、健康・体力・認知症チェックのコーナー、糖尿病・高血圧・食育に関するパネル展示のほか、食育ポスター・未来の病院絵画コンクールの表彰、庄原保育所園児による合唱、シルバーリハビリ体操などが行われました。また、広島大学医学部付属病院消化器・代謝内科診療講師の河岡友和医師による糖尿病に関する講演も行われ、多くの来場者でにぎわいました。

また、糖尿病予防の啓発のため、11月10日から18日まで庄原赤十字病院と市役所本庁舎でブルーライトアップを行いました。

▲にぎわった健康・体力・認知症チェックのコーナー

地域の特色を生かして

No.9

小奴可小学校でしいたけ原木づくりを体験・10/9

小奴可小学校の児童が、学校の裏山で東城町森林組合の協力のもと、しいたけの原木づくりを体験しました。

当日は、同小学校の全児童が参加し、森林の手入れの大切さを学びながら、原木の伐採作業の見学や原木をのこぎりで切る作業などを行いました。

原木の伐採作業の見学では、目の前で木が倒れる迫力に、児童たちからは歓声が起き、自然の雄大さを肌で感じていました。

この体験は、同小学校が昨年度から取り組んでいる「小奴可ネバーランド」計画およびひろしまの森づくり県民税を活用した「庄原市森づくり事業」の一環として行われたもので、「森林・林業体験」に学校全体で取り組むことは非常に珍しく、とても貴重な取り組みといえます。

▲児童が作ったしいたけの原木

冬の入浴 ヒートショックにご用心！
～再確認・予防と対策～

寒い冬はお風呂で体を温めると「ほっ」としますね。入浴には、血液循環を良くし、疲労を回復させるなどの効果があります。しかし気を付けてほしいこともあります。それは「ヒートショック」です。この言葉を見たり聞いたりしたことがありませんか？だんだんと気温が下がり、冬の気配を感じる今こそ、「ヒートショック」について再確認し、安全な入浴で、冬を元気に過ごしましょう。

冬場、高齢者は特に注意が必要

厚生労働省の平成28年人口動態統計によると、家庭の浴槽での溺死者数は、5138人です。そのうち、65歳以上の方が約9割を占めています。

また月別では、12月から2月に年間の約半数が集中しています。この時期に多い入浴事故が、「ヒートショック」です。

「ヒートショック」ってなに？

冬の脱衣場や浴室は、特に室温が下がりがちです。県北地域では居間と脱衣場や浴室との温度差が10℃以上あることもあります。このような環境下での入浴は、急激な温度の変化により血圧の急激な上昇や下降を引き起こし、体に大きな負荷がかかります。これを「ヒートショック」といいます。症状としては失神、不整脈などで、重症の場合は死に至ることもあります。

ヒートショックに注意が必要なのは

○65歳以上の方
○高血圧・糖尿病・動脈硬化の持病がある方
○肥満気味の方・不整脈のある方
○睡眠時無呼吸症候群などの呼吸器官が気になる方
○熱いお風呂が好き、一番風呂に入ることが多い方
○飲酒後、お風呂に入ることがある方

予防と対策

入浴前に脱衣場と浴室内を温める

・脱衣場に暖房器具を置くなどして入浴前に温かくしておく。
・服を脱ぐ前に、浴槽のふたを開けたり、シャワーで温かい水をまいたりし、浴室内を温めておく。

入浴の仕方に気を付ける

・入浴前後に水分を補給する。
・湯温は41℃以下、お湯につかる時間は10分以内を目安とする。
・湯船に入る前に手足など末端部分からかけ湯をして徐々に体を温める。
・いきなり肩まで湯船に沈めず、足からゆっくりつかる。出る時もゆっくり立ち上がる。

飲酒後、食後すぐの入浴は避ける

・飲酒後は入浴事故が発生しがち。
・食後すぐは血圧が下がることにより、失神のリスクがある。

比和支所地域振興室　専門員
塚本　麻里

庄原市比和温泉施設「あけぼの荘」の紹介

今月の「健康標語」入選作品
（健康標語は高血圧予防と糖尿病予防のための標語です）

入賞「あまいもの たべすぎちゅうい がまんしよう」まえかわ かんた

あなたの相談をお受けします

悩みごと、心配ごと、
お困りごとなど、
お気軽にご相談を

※日程は都合により変更になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

各種相談	とき		ところ	備考	問い合わせ
定期巡回児童相談	庄原	1月17日㈭10時～16時	児童福祉課あんしん支援係	広島県北部こども家庭センターによる相談。1週間前までに予約。	児童福祉課あんしん支援係 ☎0824-73-0051
	東城	2月14日㈭10時～16時	東城支所		東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131
人権相談	庄原	1月15日㈫13時30分～16時30分	庄原市ふれあいセンター	人権擁護委員	三次人権擁護委員協議会 ☎0824-62-2572
	東城	1月10日㈭13時30分～15時30分	東城ふれあいセンター		
	総領	1月9日㈬9時～11時	総領保健福祉センター		
行政相談	庄原	1月17日㈭13時～15時30分	庄原市ふれあいセンター	行政相談委員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
	東城	1月17日㈭13時30分～15時30分	東城支所		東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
	総領	1月9日㈬9時～11時	総領保健福祉センター		総領支所市民生活係 ☎0824-88-3063
法律相談	庄原	1月11日㈮13時～16時	庄原市ふれあいセンター	広島弁護士会による無料相談。要予約。	広島弁護士会 ☎0120-969-214
生活安全相談	毎週月～金（祝日・年末年始除く）9時～12時、13時～15時45分		市民生活課市民生活係	生活安全相談員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1244
			東城支所市民生活係		東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
家庭児童相談	毎週月～金（祝日・年末年始除く）9時～15時45分		児童福祉課 あんしん支援係	家庭児童相談員	家庭児童相談専用 ☎0824-73-1243
消費生活相談	毎週月～金（祝日・年末年始除く）9時～12時、13時～16時		市民生活課市民生活係内 庄原市消費生活センター	消費生活相談員	庄原市消費生活センター ☎0824-73-1228 市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
学校での体罰・ハラスメント相談	随時		教育指導課学事係（各学校でも受け付け）	プライバシーの保護、秘密保持を徹底します。	教育指導課学事係 ☎0824-73-1183
認知症カフェ	庄原	「とんぼ」1月15日㈫13時30分～15時	庄原ショッピングセンター ジョイフル2階	相談・情報交換 参加費100円	高齢者福祉課地域包括支援センター係 ☎0824-73-1165
	西城	「コスモスカフェ」1月10日㈭13時30分～15時	西城保健福祉センター（しあわせ館）		西城支所保健福祉係 ☎0824-82-2202
	東城	「おれんじカフェ・ええ塩梅（あんばい）」12月25日㈫13時30分～15時	東城支所		東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131
身体障害者補装具判定会	肢体	1月17日㈭13時～14時	広島県三次庁舎第3庁舎2階 三次市十日市東4-6-1	一週間前までに要予約	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
障害者相談員定期相談会	庄原	1月21日㈰13時30分～15時30分	庄原市ふれあいセンター	身体	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
心の健康相談	12月18日㈫・1月15日㈫ 13時～14時30分		広島県北部保健所（広島県三次庁舎第3庁舎） 三次市十日市東4-6-1	精神科医師による無料相談。事前予約が必要。	広島県北部保健所保健課 ☎0824-63-5181（内線3342・3343）
相続税・贈与税・譲渡所得の相談	原則各月第3金曜日 10時～15時30分 日時が変更される場合あり		庄原税務署	要電話予約。国税局電話相談センター（☎0824-72-1001へ→音声案内に従い「1」を選択）もご利用ください。	庄原税務署調査部門 ☎0824-72-0464（直通）

母子保健事業　●保健医療課健康推進係　☎0824-73-1255

事業名	とき	ところ	持ってくるもの	備考
母子健康手帳交付	1月7日㈪9時～17時	保健医療課	特になし	支所は随時（事前連絡必要）
育児相談	1月8日㈫10時～12時	庄原ひだまり広場（ＪＲ備後庄原駅舎内）	母子健康手帳	支所でも実施（詳細はお問い合わせください）

募集

ごみ収集カレンダー広告募集

市が作成する平成31年度版の「ごみ収集カレンダー」に掲載する広告を募集します。

募集枠　12枠

規格　縦3センチ×横25センチ（見開きカレンダー）

配布部数　市内全世帯に約1万7千部配布

広告料金　1枠2万円（ただし、1社につき2枠まで）

募集期間　12月21日㈮まで

※応募多数の場合は、市内の方を優先し先着順とします。

申し込み・問い合わせ
財政課理財係
☎0824-73-1202

放送大学4月生募集

放送大学では、平成31年度第1学期（4月入学）の学生を募集します。

10代から90代の幅広い世代、約9万人の学生が、大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で学んでいます。

放送大学はテレビ、ラジオで授業を行っているだけでなく、その授業をインターネットで好きなときに受講することもできます。心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。

資料を無料で差し上げていますので、お気軽に放送大学広島学習センターまでご請求ください。

出願期間　3月17日㈰まで

大学説明会日程（庄原会場）
1月12日㈯・2月9日㈯・2月23日㈯

問い合わせ
放送大学広島学習センター
☎082-247-4030

新ご当地グルメ事業参加店舗募集

庄原観光いちばん協議会では、観光客を呼び込み、市内飲食店などを利用してもらうことで、地域内経済の活性化を図ることを目的に「新ご当地グルメ事業」を行っています。観光客を呼び込む決め手は「地域のおいしい食」です。

現在この事業へ参加していただける店舗を募集しています。

事業に参加すると、メニューの写真撮影やチラシ作成、広告媒体への掲載、旅行会社などへの営業を特典として受けることができます。多くの店舗が参加することで、インバウンドを含む観光客へのプロモーションを大々的に行うこともできます。興味のある店舗はぜひご参加ください。

新ご当地グルメ定義

●庄原パンケーキ
①庄原産の食材（フルーツ、野菜、アイス、ジャム、ソース、ジュレなど）でトッピングをすること
②レイアウトや見た目にも気を配ること
※既製の冷凍パンケーキなどを使用しても構いません。

※写真はイメージです

●庄原やさい寿司セット
①庄原産の米と野菜を使い、工夫を凝らすこと
②予約をせずに食べられること（数量限定は可）
③麺類や副菜とセットにすること
④レイアウトや見た目にも気を配ること
※寿司の種類は各店舗の自由

※写真はイメージです

●庄原やさい寿司御膳
①庄原産の米と野菜を使用すること
②料金は1500円以上
③各店こだわりの副菜、汁物を提供すること
④レイアウトや見た目にも気を配ること

農家民宿百姓庵「紡」
庄原やさい寿司御膳

●比婆牛丼
①比婆牛と庄原産の米を使用すること
②料金は1500円以上
③野菜を使用する場合は、できるだけ庄原産を使用すること
④レイアウトや見た目にも気を配ること

ひろしま県民の森　比婆牛丼

受付期間
12月5日㈬～21日㈮

受付方法
エントリー用紙を提出

問い合わせ　庄原観光いちばん協議会（事務局　観光振興課）
☎0824-73-1179

その他

障害者控除対象者認定の申請はお済みですか？

年末調整や確定申告の時期が近づいてきました。

65歳以上の介護を必要とする方で、「身体障害者等に準ずる方」や「6カ月以上寝たきり状態にある方」は、税法上の所得控除を受けることができる「障害者控除対象者認定」が受けられる場合があります。

対象者
65歳以上の方で、「身体障害者手帳」「療育手帳」または「精神障害者保健福祉手帳」の交付を受けておらず、次の①②③④のうち、いずれかの状態の方。
①認知症の症状がある、あるいは認知症と診断されている方
②屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない方
③屋内での生活に何らかの介助が必要で、日中もベッドなどでの生活が主である方
④生活全般に介助が必要な方（ほぼ寝たきり状態の方）
※身体障害者福祉法などに基づく障害認定と、介護保険法に基づく要介護認定は、認定基準が異なるため、要介護認定の介護度が高くても「障害者控除対象者認定」の対象とならない場合があります。
※認定の区分には「障害者（軽度・中度）」と「特別障害者（重度）」があります。すでに「障害者」の区分で障害者控除を受けている方でも、申請により「特別障害者」と認定される場合があります。

申請に必要なもの
①印鑑
②障害者控除対象者認定申請書
③医師の診断書または民生委員の意見書（要介護認定者は不要です）
※書類は高齢者福祉課介護保険係または各支所地域振興室・市民生活室（西城支所は、しあわせ館）にあります。

申請先・問い合わせ
高齢者福祉課介護保険係
☎0824-73-1167
または各支所地域振興室・市民生活室（西城支所は、しあわせ館内）

観光振興計画方針（案）に対する意見を募集します

市は、長期的な観光振興政策の方向性を定める「庄原市観光振興計画」について、平成25年度に第1期計画を策定しました。第1期計画は平成30年度をもって終了するため、現在第2期計画の策定作業を進めています。

今回、本計画の策定に際して、市民の皆さんに対し計画案へのパブリックコメントを募集しますので、ご協力をよろしくお願いします。

送付方法
12月中旬に、市ホームページ内の「庄原市からのお知らせ」および「観光振興課のページ」に、観光振興計画方針案と募集要領を掲載しますので、計画方針案を参照の上、電子メールかFAXでご意見を送付ください。なお、電子メールアドレスとFAX番号は、ホームページへ掲載予定です。

募集期間（予定）
12月中旬から平成31年1月中旬まで

※ホームページに掲載する募集要領で、日程などの詳細を掲載します。

問い合わせ
観光振興課観光振興係
☎0824-73-1179

ミツバチを飼育している方は「蜜蜂飼育届」の提出を！

養蜂振興法の定めにより、蜜蜂を飼育する場合は、その年の飼育計画などを記入した「蜜蜂飼育届」を、毎年1月末までに広島県に提出する必要があります。趣味で飼育する場合も提出が必要です。（手数料はかかりません）

ただし、園芸作物の花粉交配用に飼育する場合など、届け出が不要な場合もありますので、詳しくは広島県北部畜産事務所にご相談ください。

問い合わせ
広島県北部畜産事務所
☎0824-72-2071

水道管の凍結対策を

例年この時期は、凍結による水道管の破裂が起きています。水道管は、気温がマイナス4度以下になると凍結による破裂の可能性が高くなります。寒波の到来による急な冷え込みに備え、屋外の露出している水道管や、普段使用していない蛇口などには、市販の保温材や電気式の凍結防止帯を巻くなどして、凍結対策を行いましょう。

【凍ってしまったら】
凍った部分にタオルや布をかぶせてその上からぬるま湯をゆっくりかけましょう。直接熱湯をかけたり、急に熱湯をかけたりすると、水道管や蛇口が破裂することがあります。

問い合わせ
水道課工務係
☎0824-73-1170
または各支所水道室

事業主（給与支払者）の皆さんへ
広島県と県内全23市町からの重要なお知らせです。

2020年度から個人住民税が
原則すべて 特別徴収となります。

広島県では、納税者間の公平性、納税者の利便性などを確保し、納税忘れなどを防ぐため、全23市町で2020年度から、従業員（※）の方の個人住民税は原則すべて特別徴収になります。
事業主の皆さんによる特別徴収は法律上の義務ですので、ご理解・ご協力をお願いします。
※従業員には、パート、アルバイト、短期雇用者、非常勤職員、役員などを含みます。

●制度の内容や手続きなどの詳細は
広島県　個人住民税特別徴収　検索

【この広告に関する問い合わせ】広島県総務局税務課 ☎082-513-2329
広島県・県内全23市町

市内の主な施設　年末年始の業務案内

年末年始の業務予定は、次の表のとおりです。■の部分が休業日となりますのでご確認ください。
なお、「出生」、「死亡」、「婚姻」など戸籍に関する届け出や、埋火葬、斎場使用の許可手続きなどは、休み中でも取り扱います。詳しくは市民生活課戸籍住民係（☎0824-73-1157）までお問い合わせください。

			12/23(日)	24(月)	25(火)	26(水)	27(木)	28(金)	29(土)	30(日)	31(月)	1/1(火)	2(水)	3(木)	4(金)
市役所（本庁・各支所）		☎0824-73-1123	■	■					■	■	■	■	■	■	
田園文化センター		☎0824-72-1159		■					■	■	■	■	■	■	■
総合体育館		☎0824-72-8000							■	■	■	■	■	■	■
庄原市ふれあいセンター		☎0824-75-0301													
市民会館		☎0824-72-4242						■	■	■	■	■	■	■	■
西城市民病院（救急は24時間対応）		☎0824-82-2611	■	■					■	■	■	■	■	■	
時悠館		☎08477-6-0161				■			■	■	■	■	■	■	■
口和郷土資料館		☎0824-87-2230	■		■	■		■	■	■	■	■	■	■	■
比和自然科学博物館		☎0824-85-3005							■	■	■	■	■	■	■
ごみ処理	収集		■						■	■	■	■	■	■	
	持ち込み 備北クリーンセンター	☎0824-72-2044		■							■	■	■	■	
	持ち込み リサイクルプラザ	☎0824-72-1398		■							■	■	■	■	
	持ち込み 東城クリーンセンター	☎08477-2-0214		■							■	■	■	■	

※その他の施設については、直接各施設へお問い合わせください。

あっぱれ！庄原

全国レベルの大会出場者、全国・県レベルの大会、市が共催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。（敬称略）

県大会

第38回全国中学生人権作文コンテスト広島県大会
●優秀特別賞
糸原　愛理（高野中1年）

第43回広島県民体育大会空手道競技スポーツ少年団の部組手競技
（11月3日／広島市安佐北区スポーツセンター）
●個人戦小学3・4年生女子の部
第1位
新井　梓（庄原小4年）

その他

第13回庄原絵手紙大賞
●子どもの部
大賞
垣内　優希（比和小2年）
優秀賞
田岡　千奈（東小2年）
中倉　綾希（高小3年）
杠　蓮太朗（比和小6年）
奨励賞
兼次　柊惺（八幡小1年）
伊達　英愛（峰田小1年）
石川明日翔（高小2年）
横川　暁久（庄原小2年）
若林　朋哉（峰田小2年）
溝口　羽琉（峰田小4年）
笹田　朋昭（西城小5年）
中井陽々気（峰田小6年）
三好　育未（十日市小6年）
森田　麗菜（峰田小6年）
●一般の部
大賞
地子給貴美子（東城町）
優秀賞
井上　澄子（東城町）
片岡　義之（七塚町）
田島由紀子（口和町）
奨励賞
石富まち子（口和町）
栗本　良子（高野町）
定本恵美子（口和町）
田辺　静香（比和町）
津秋　利子（比和町）
常數　和枝（新庄町）
中所　京子（口和町）
永迫加代子（七塚町）
古本　文子（板橋町）
森近　秋義（比和町）

※「あっぱれ！庄原」に該当する方の情報は、行政管理課広報統計係までお寄せください。

広告
「この社会あなたの税がいきている」
―インターネットで申告・納税できる―
e-Tax（国税電子申告・納税システム）　利用推進運動中
http://www.e-tax.nta.go.jp
公益社団法人
庄原法人会
めざします よき経営者による 正しい納税で 企業の繁栄と社会への貢献
〒727−0011 広島県庄原市東本町1−2−22（庄原商工会議所会館内）
TEL 0824−72−1889（FAX兼用）
HP：http://www10.ocn.ne.jp/~shk/

庄原いちばん ええね！
市公式フェイスブックページ
庄原いちばん ええね！更新中！
https://www.facebook.com/shobara.ichiban

国営備北丘陵公園だより

備北イルミ

1月14日（月・祝）まで開催！　※12月31日㈪、1月1日㈫は休園日
開園時間：9時30分～21時　※入園は20時まで
※期間中、12月10日㈪・17日㈪・25日㈫、1月7日㈪は14時開園
点灯時間：17時30分～21時

備北公園管理センター　☎0824-72-7000（http://www.bihoku-park.go.jp/）

宇宙旅行

備北イルミ

【今年のテーマは「星空」】
エリアごとのテーマは次のとおりです。
★中の広場…宇宙旅行
★ひばの里…七夕物語
★花の広場…皇の海

【主なイベント】
☆ILLUMI（イルミ）&花火のコラボ
約200発の花火とイルミネーションのコラボをお楽しみください。
とき　12月8日㈯・15日㈯・22日㈯　19時～（5分間）
ところ　中の広場・ひばの里・花の広場

☆ILLUMI（イルミ）LIVE
アーティストによるクリスマスソングやウインターソングを、イルミネーションの光景とともにお楽しみください。
とき・内容
12月8日㈯　総領スカパラダイスオーケストラ
12月15日㈯　佐々木リョウ
12月22日㈯　Be-being
※各開催日に3公演
①16時30分 ②18時 ③19時
ところ　中の広場

☆クリスマスプレゼント
サンタさんから子どもたちへ、クッキーをプレゼントします。
とき　12月24日（月・祝）　17時30分～
※クッキーがなくなり次第終了
ところ　中の広場ほか

※写真はイメージです

☆空から見える景色
高所作業車の上から見えるイルミネーションの景色をお楽しみください。
※身長110センチ以上の方が対象
※天候により中止の場合あり
とき　12月15日㈯・16日㈰　17時30分～21時
ところ　中の広場
参加費　700円／人

※写真はイメージです

※イベントの詳細は、電話または公園ホームページにてお問い合わせください。

広告
相続、空き家問題、成年後見等でお困りの方、あなたの世代で解決しませんか？
業務のご案内
●不動産の名義変更　●成年後見
●相続登記・遺言　●会社の登記
●借金の整理　●簡易裁判所訴訟代理等
●詳しくはホームページに記載しています。
庄原　司法書士　検索
司法書士 飯田 一生（広島県司法書士会所属）
広島北部司法事務所
（訴訟代理権認定第524014号）（司法書士登録番号828号）
平成29年4月1日より庄原市役所前に事務所移転しました。
新住所 〒727-0012 広島県庄原市中本町一丁目8番16号 TEL0824-72-2315（要予約）

広告 住まいの事なら何でもご相談下さい。
チガヤカ 長岡商事株式会社
住まいの修理、新たなご提案、施工、アフターケアまで地元ならではのフットワークで、皆さまの大切なお住まいをより快適にするお手伝いをしています。
0120-184-268
広島県庄原市是松町5020番40　TEL0824-72-0561

人の動き（庄原市の人口）

平成30年10月末現在

[住民基本台帳登載人口]

人口	３５，６４２人	（前年比－７４４人）
男	１６，９５０人	（前年比－３１１人）
女	１８，６９２人	（前年比－４３３人）
世帯数	１５，６４０世帯	（前年比－１２１世帯）

[うち外国人] 人口　３９０人（前年比＋２２人）

市税・水道料金・下水道使用料 納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。
残高確認も忘れないでください。

●収納課　☎０８２４－７３－１１４５
●下水道課管理係　☎０８２４－７３－１１７５
●水道課業務係　☎０８２４－７３－１１９７

休日診療のご案内

12月・1月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原市休日診療センター
診療日：日曜・祝日・年末年始（12/30 ～ 1/3）
※内科・中学生以上のみ診療
問診療日　☎0824-72-9900
診療日以外　☎0824-73-1155（保健医療課）

●東城地域

12月23日（日）	三上クリニック	☎08477-2-1151
29日（土）	こぶしの里クリニック	☎08477-2-5255
30日（日）	瀬尾医院	☎08477-2-0023
31日（月）	日伝医院	☎08477-2-2180
2日（水）	こぶしの里クリニック	☎08477-2-5255
3日（木）	東城病院	☎08477-2-2150
6日（日）	三上クリニック	☎08477-2-1151
13日（日）	こぶしの里クリニック	☎08477-2-5255
20日（日）	瀬尾医院	☎08477-2-0023

献血のご案内

問保健医療課 ☎ 0824-73-1155

献血を次のとおり実施します。
400ml 献血限定ですので、皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会　場	受付時間
1月11日㈮	庄原市役所	10時～11時15分 12時30分～15時

広報日記

▶庄原市総合防災訓練の取材に行きました。口和自治振興区の皆さんの初期消火訓練から防災ヘリコプターの吊り上げ救助訓練まで、真剣に行われました。これからの季節、火災などには気をつけましょう。㊢
▶平成30 年も残すところあとわずかになりましたね。本年はどんな一年でしたでしょうか。迎える新しい年が皆さまにとって良い年となりますように。㊕

食育コーナー

問児童福祉課 ☎ 0824-73-1214

備えあれば…

本年も全国各地で豪雨や台風、地震による被害がありました。「自分の住んでいる所は大丈夫」といった事は決してなく、「いつどこで何が起きてもおかしくない」状況にあると年々強く感じます。

市内の保育所においても、日頃から避難訓練などを行い防災意識を高めています。

自然災害に限らず、もしいつも当たり前に使っている水道やガス、電気が止まったら・・・保育所として何をどのように備えておけばいいのか、さまざまなシチュエーションを想定しながら子どもたちと一緒に考えていきたいと思っています。

本年度は、マジックライスやレトルト食品などを実際に作ったり食べてみることで、防災食に触れる機会を作っています。「思ったより食べやすいね」「味はしっかりついてるね」「水で戻すと時間がかかるね」など、実際に体験することで気づくこともたくさんあります。

説明書をよく読みながら調理

できあがったらよく混ぜて

みんなで試食しました。味はどうかなー？

備えておくことの大切さを実感し、使い方や作り方をしっかり覚え、いざという時に役立てることができるように、子どもたちに繰り返し伝えていきたいと思います。

配偶者や恋人からの暴力・暴言などで悩んでいませんか？
あなたの不安な気持ちをお話しください。
《家族や友人が心配という方もご相談できます。》
庄原市役所児童福祉課あんしん支援係
☎ 0824-73-1243　［月～金　9時～ 17 時（年末年始・祝日除く）］

広島県西部こども家庭センター	☎ 082-254-0391	月～金 10 時～ 17 時
	休日夜間☎相談 ☎ 082-254-0399	月～金 17 時～ 20 時 土日祝 10 時～ 17 時
広島県北部こども家庭センター	☎ 0824-63-5181（代）内線 2313	月～金 10 時～ 17 時

時悠館

☎ 08477-6-0161
開館:9時～17時　休館:水曜(祝日開館・翌日休館)・年末年始

東城小6年生による「おもしろ展示企画」が始まりました

本年 10 月 17 日に開館 15 周年を迎えた時悠館では、博物館機能の強化と魅力アップを目指し、「多様な主体」との連携を進めています。小学生も、連携すべき多様な主体の重要な一員であることは言うまでもありません。

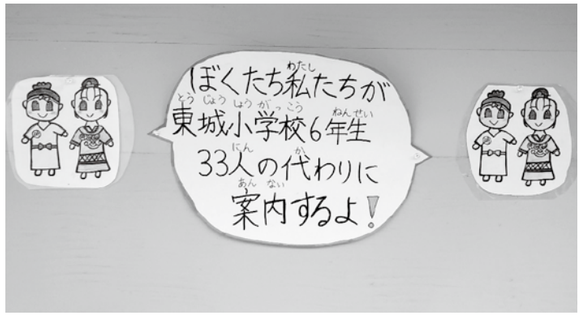
上半期には、東城小学校の「総合的学習の時間」で、6 年生 33 名が「時悠館子ども学芸員」として、博物館の 4 つの基本的な学芸業務「来てもらう・あつめる・しらべる・つたえる」を体験しました。

この体験では、時悠館の宝物をみんなの宝物にするための「おもしろ展示企画」が多く提案されました。

いずれの提案も、子ども目線ならではの柔軟性に富んだ素敵な内容だったため、全ての企画を採用し、展示資料の作成と、実際の展示活動に挑戦してもらいました。

展示は 11 月 1 日から始まり、17 日からは、第 1 常設展示室「岩陰遺跡の証言」の音声ガイダンス設備で、子どもたちの吹き替えによる音声案内も始まりました。

ぜひ来館いただき、子ども学芸員によるおもしろ展示企画の見学を通じて、帝釈峡を楽しく学んでください。



しょうばら九日市

毎月９日は、しょうばら九日市　1月

★出店者募集中！あなたのお店を開こう。
★毎月20日が出店申込締め切りです。
★申し込みは楽笑座内九日市事務局
☎ 0824-72-8285 まで

とき　1月9日（水）　9時～13時
ところ　中本町・まちなか広場周辺（のぼりが目印）
詳しくはＨＰで　http://kunchi-ichi.jp/information.html

市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX（西本町二丁目1番 21 号）

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

植物の細密画作品展（自然をみつめよう会）
とき　1月８日㈫～10日㈭　10時～16時

問庄原市文化協会事務局　☎ 0824-72-5453
商工林業課商工振興係　☎ 0824-73-1178
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料は要りません。

食彩館しょうばら ゆめさくら

☎ 0824-75-4411

12 月・1 月のイベント情報

▶展示・イベント
○干支展
とき　12 月 13 日㈭～ 1 月 31 日㈭
ところ　エントランスホール
○ゆめさくら歳末感謝祭
とき　12 月 22 日㈯～ 25 日㈫
※比婆牛などが当たる大抽選会は 24 日・25 日（抽選会対象者は 500 円以上お買い上げの方）

【年末年始の営業】
休館日　12 月 31 日㈪～ 1 月 3 日㈭
初売り　1 月 4 日㈮

【営業時間の変更】
1 月 4 日から 3 月末日までは 17 時に閉館します。
※朝どり市は通常通り 16 時終了

第 95 回ロビーコンサート

問生涯学習課 ☎ 0824-73-1188

とき　12 月 25 日㈫ 12 時 15 分～ 55 分
ところ　市役所 1 階市民ホール
出演者　広島ジュピター少年少女合唱団
演奏曲目
赤い靴、群青、地球の歌　ほか

▶広島ジュピター少年少女合唱団…合唱を通し音楽と平和を愛する人づくりを目的に 1964 年 1 月に創設。団員は小学 1 年生から高校 3 年生までの男女児童・生徒で構成している。広島市主催の平和式典をはじめ、全日本少年少女合唱連盟全国大会（3 月）、春のミニコンサート（4 月）、さざなみコンサートや広島平和祈念・中四国ハンドベルフェスティバル（7 月）、医療従事者追悼式・合宿及び慰問演奏・広島県少年少女合唱連盟定期演奏会（8 月）、合唱団の定期演奏会（11 月）などで演奏している。

第5回 雪郷高野フォトコンテスト 作品募集

対象作品 第21回広島県雪合戦大会（本年２月）で撮影した作品。または、雪をテーマに撮影した風景や人物などの作品。（平成29年11月1日以降に高野町で撮影したものに限ります。）

作品規定 カラー、モノクロのもの（四つ切相当）。デジタルカメラで撮影した場合、写真用印画紙にプリントしたもの。

応募規定 未発表の作品で1人3作品までの応募に限ります。組写真の場合、1組3枚以内で1組を一つの応募として取り扱います。作品の裏面には、必要事項を明記した「応募票」を貼り付けてください。入賞した場合、電子データ、ネガまたはポジフィルムを提出してください。応募作品の版権は、主催者に帰属するものとします。応募票、応募作品の返却はしません。

注意事項 被写体となる第三者への了承は撮影者で得てください。トラブルが発生した場合は、撮影者の責任において解決し、実行委員会では責任を負わないものとします。

応募締め切り 平成31年1月9日（水）必着

賞 金賞1点（２万円相当の副賞）、銀賞２点（１万円相当の副賞）、特別賞5点（３千円相当の副賞）

発　表 第22回広島県雪合戦大会【平成31年２月２日（土）・３日（日）】で発表します。

【申し込み・問い合わせ】 広島県雪合戦大会実行委員会（事務局：高野支所地域振興室産業建設係　0824-86-2113）

里山の駅 庄原 ふらり 「連続講座」

国営備北丘陵公園北入口一帯を無料開放している社会実験事業を実施中!!

イベント情報

美しいロケーションの中で、楽しいひとときを仲間と過ごしましょう!!
定員は各講座20人程度です。参加を希望する方は、お早めにお申し込みください。
※各講座とも３回連続講座です。第３回の内容は未定で、後日、申込者へお知らせします。

【子育て応援講座】

子どもの写真の撮り方や絵本のお話し会など
子育て中の親子を対象とした楽しい講座を開催します。

＊と　き／**12月18日**（火）、**1月8日**（火）
1月22日（火）の10時～12時
＊ところ／わいわいランド
＊内　容／
第１回：デジタルカメラの使い方＆子どもの写真の撮り方講座
第２回：絵本のお話し会＆「親の力」をまなびあう学習プログラム
「おひざにだっこでおはなししましょう」
＊対　象／子育て中の親とその子
＊参加費／各回500円（ワンドリンク付き）

【コダレのおしゃれ講座】

クリスマスのテーブルセッティングや
ホームパーティーでのテーブルセッティングなど
おしゃれな講座を開催します。

＊と　き／**12月19日**（水）、**1月9日**（水）
1月23日（水）の13時30分～15時
＊ところ／庄原ガーデンヒルズ　カフェ
＊内　容／
第１回：クリスマスのテーブルセッティング
第２回：ホームパーティーのテーブルセッティング
＊対　象／制限はありません。
＊参加費／各回500円（ワンドリンク付き）

【申 込 方 法】 電話でお申し込みください。（平日８時30分～17時15分）
【締 め 切 り】 **12月12日（水）** ※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
【申し込み・問い合わせ】 備北丘陵公園北エリア運営協議会（事務局：観光振興課観光振興係 ☎0824-73-1179）

平成30年12月５日発行
編集・発行　庄原市行政管理課
〒727-8501　広島県庄原市中本町一丁目10番1号　☎0824-73-1159　ホームページ　http://www.city.shobara.hiroshima.jp　【法人番号】2000020342106
印刷　平和印刷㈱